

2学期始業式のお話（8/19）

いつもに比べて短い今年の夏休みでしたが、どんな過ごし方をしましたか？

夏休みの初日となった8月1日には6年生が学年行事で、学校への宿泊体験をして、家の人達が何日も前から準備をすすめていた「怖い、怖いお化け屋敷」に挑戦しました。校長先生も、皆さんの前に回って見ましたが、驚きの声を上げっぱなしでした。

また、8月3日から4日にかけては5年生が、県朝日少年自然の家への「宿泊体験学習」を行いましたね。急な崖を下ったり、登ったりの「冒険チャレンジ」、そして感動の「キャンプファイヤー」や「ミノムシになっての宿泊体験」など、「自分たちの力で」をテーマとして、一生懸命に努力する姿が素晴らしかったです。

ここで、6年生、5年生の皆さんに一言・・・、学年の先生からもお話があったと思いますが、「これらの活動ができたこと」は、家の人や先生方、そして関係する方々の理解と協力によってできたことを忘れず、感謝の思いを持って2学期の頑張りにつなげてほしいと思います。

そして、1年生から4年生の皆さんも、コロナ感染症を意識しながらも、「安全」に、そして「思い出に残る」夏休みを過ごしてきてくれたのではないかと思います。

「うさぎ当番や水かけ当番なども頑張ってくれた人もたくさんいたのかな？」

皆さん、本当にありがとう。

そんな、一人ひとりの積極的な頑張りが見られた夏休みも昨日で終わり、今日からいよいよ2学期が始まりました。ぜひ、皆さんには、今日からまた「新たな気持ち」でスタートをしてほしいと思います。

ここで2学期の始業式にあたり、校長先生の夏休みについてお話をします。

私の今年の夏休みは、特に遠くに出かけることもなく、主に、「自分の家の用事をしていくこと」が多かったです。自分の家の用事を、具体的には「庭にある池の掃除」「お墓の掃除」「畑の草刈り」など、暑い夏には大変と思われることばかりやっていました。

でもね、暑くて大変だったのですが、作業をしていて「いやだなあ」とはまったく思わなかったです。

なぜ、「いやだなあ」と思わなかったのだと思いますか？

それは、「誰かに言われて活動したのではなく、『自分から』やるぞ・・・と決めて、行動したからなのです。

皆さんはどうですか。

人から言われてやるのは「嫌でも」、「自分から」行動すると楽しく活動できませんか？
特に「人の役に立っていると感じた時」は、うれしい気持ちも加わりませんか？

2学期は、運動会をはじめ、勉強面でも運動面、そして学校創立10周年をお祝いする会なども様々予定されています。

- ◇ 勉強も・・・人に言われる前に「自分から」
- ◇ 運動や活動・・・言われる前に「自分から」
- ◇ 早寝早起き・・・言われる前に「自分から」
- ◇ あいさつ・・・言われる前に「自分から」

「自分から」行動したりすれば、気分もいいし、楽しく活動をすることができます。

2学期は88日間です。

新型コロナウイルス感染症や熱中症を意識しながらの「勉強や運動のスタート」となりますが、日頃の生活の中でも「自分から」を意識して充実した2学期を過ごしてほしいと思っています。

頑張る皆さんを、先生方も、精一杯応援していきます。

最後に、ここにいる全校生・そして先生方一人一人にとって、充実した2学期となることを心から期待して、2学期初めの式「始業式」でのお話は終わります。